

## Q8：学習環境をどのように整備すればよいですか？

A：英語活動を行うに当たっては、授業の活動内容に合った活動の場を設定することが大切です。必要に応じて、机や椅子を使わないスペースづくりや、ロールプレイしやすい場の設定など、教室内の環境整備を工夫することが大切です。また、「英語活動室」などの特別教室がある場合は、どの学年も使用でき、その授業にあった活動の場が設定しやすくなるよう、臨機応変に使用できる環境づくりが大切になるでしょう。



もし、英語のための教室が用意できたのなら、次のような環境整備をすると、児童が楽しい雰囲気の中で、いろいろな英語に触れることができるでしょう。



### 1 英語にかかわる掲示物

掲示物の中にいろいろな単語とその絵をカラフルに示すと楽しい雰囲気になります。英語の授業に頑張っ取り組もうという意欲につながると同時に、英語表現に慣れ親しむことにもなります。カテゴリー別に、たとえば、果物、動物、乗り物、色や形・・・という具合に掲示します。こうすることで、絵と言葉を視覚の上でインプットすることができます。また、その掲示物があることで、授業中に活動が進んだ時、すぐに

活用することができたり、児童が何気なくその掲示物を見ながら、英語表現を考えたり思い出したりするものです。

環境整備は、一題材が終わったらその掲示物を貼り、増やしていくなど継続して行っていくとよいでしょう。また、英語担当者だけでなく、全職員で協力して環境整備に当たることが大切です。

### 2 教材・教具の整備

英語活動を進めるに当たって、教材・教具は大変重要です。授業で使用した教材や教具は、次年度も使うことができるように、また、他学年でも関連のある単元の場合に利用することができるように、分かりやすく整理することが望ましいと考えます。整理する方法は、二通りあります。



一つ目は、学年ごと、題材ごとの分類です。こうすると、その題材を次に扱うときにすぐに活用できます。そのときの簡単な指導案も一緒にしておくとしらに使いやすくなります。

二つ目は、カテゴリーごとの分類です。クリスマス関係、動物関係等というようにカテゴリーで分けます。動物の整理箱には、動物に関連した大小のカードがあったり、ビンゴカードがあったりという具合です。

### 3 その他

その他の環境として、世界地図や地球儀、また、歌を歌う時の CD や MD、チャントを行う時の機器、様々なビデオやビデオを視聴する時のモニター、再生機等も、必要に応じて効果的に活用してみましょう。